

【引受保険会社】

Triplet Plus トリプレット プラス



〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)
I型(日経平均株価)

2014年度 (2014年4月～2015年3月) 特別勘定の現況 決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)」の株価指数連動追加年金のお支払のための資産は、特別勘定で運用を行います。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)」の特別勘定の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。また、本保険契約の「型」または「特別勘定」単位の情報を掲載しております。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) I型(日経平均株価) 特別勘定の現況 (2014年4月～2015年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2014年4月～2015年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、大幅に上昇しました。東証株価指数(TOPIX)は前期末比+28.28%上昇の1,543.11ポイント(前期末は1,202.89ポイント)で終了しました。今期前半は、日銀が金融政策を現状維持にとどめたことなどから下落した後は、米国の堅調な経済統計などを背景に上昇基調で推移しました。今期後半は、世界経済の先行き不安などから下落した後は、日銀やECB(欧州中央銀行)の追加金融緩和や企業業績の改善などを背景に、大幅に上昇して、今期を終えました。業種別(東証33業種)では、円安による業績拡大期待が高まった「化学」(前期末比+46.40%)が最も上昇した一方、原油価格の大幅下落を受けて「石油・石炭製品」(同△0.24%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、上昇しました。NYダウは前期末比+8.01%上昇の17,776.12ドル(前期末は16,457.66ドル)で終了しました。今期前半は、ウクライナや中東における地政学リスクの高まりなどから下落する場面もありましたが、経済指標の改善などから、上昇基調で推移しました。今期後半は、世界経済の先行き不安などから大きく下落した後、共和党が両院を制してねじれ議会在野が解消したことなどにより反発しましたが、その後は利上げ観測を巡り揉み合いながら推移して、今期を終えました。
欧州株式市場は、上昇しました。概ね米国株式市場と同様の動きとなりましたが、今期後半は、ECBIによる追加金融緩和や、ギリシャへの金融支援延長合意などから、特に仏・独株式市場では大幅に上昇し、堅調に推移して、今期を終えました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比+2.65%上昇、仏CAC40は同+14.62%上昇、独DAXは同+25.22%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、金利が低下しました。新発10年国債利回りは0.40%となりました(前期末は0.64%)。
今期前半は、株高・円安などを受けて、金利は上昇(価格は下落)する場面もありましたが、欧米の長期金利の低下や、国債需給の逼迫が意識されたことなどから、低下(価格は上昇)基調で推移しました。今期後半は、日銀の強力な金融緩和姿勢などを受けて、大幅に低下した後、堅調な株価などから上昇しましたが、米国の利上げ観測や国債入札結果などを巡り、揉み合いで推移して、今期を終えました。
日本銀行は10月末にマネタリーベース増加額の拡大を決定し、年間約80兆円(約10～20兆円増加)に相当するペースで増加するよう金融市場調節を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

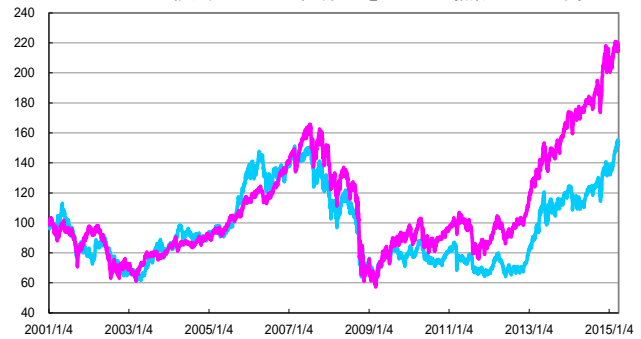
米国債券市場は、金利が大幅に低下しました。米10年国債利回りは1.92%となりました(前期末は2.72%)。今期前半は、経済指標の改善や地政学リスクの高まりなどから、揉み合いで推移しました。今期後半は、原油価格の下落やECBの追加金融緩和などを受けて、大幅に低下した後、好調な株式市場などから上昇しましたが、FOMC(米連邦公開市場委員会)の結果を受けて、利上げペースが緩やかとなる可能性が意識されたことなどから、低下基調で推移して、今期を終えました。
欧州債券市場は、金利が大幅に低下しました。独10年国債利回りは0.18%となりました(前期末は1.57%)。地政学リスクの高まりや、スイス中央銀行によるスイス・フラン上限撤廃、ECBの資産買入れ開始などをを受け、期を通して低下基調で推移しました。
FRB(米連邦準備制度理事会)は、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.00～0.25%を維持しました。ECBは6月と9月に政策金利を0.10%ずつ引き下げ、年0.05%としました。

【外国為替市場】

外国為替市場は、前期末比較で米ドル/円相場は円安となる一方、ユーロ/円相場は円高となりました。米ドル/円相場では、前期末比17円25銭円安ドル高の1ドル=120円17銭となりました(前期末比+16.76%上昇)。今期前半は、横ばいで推移した後、先行きの日米金利差の拡大が意識されたことなどを背景に、円安となりました。今期後半は、日銀の追加金融緩和などにより大幅に円安が進行しましたが、その後は米国の利上げ観測を巡り揉み合いながら推移して、今期を終えました。
ユーロ/円相場は、前期末比11円33銭円高ユーロ安の1ユーロ=130円32銭となりました(前期末比△8.00%下落)。今期前半は、米国の経済指標の改善などから円安となる一方、地政学リスクの高まりなどから円高となるなど、小幅な揉み合いで推移しました。今期後半は、日銀の追加金融緩和やドイツの景況感改善などから、円安が進行した後、スイス・フラン上限撤廃や、ECBの量的金融緩和などを背景に、大幅な円高となり、今期を終えました。

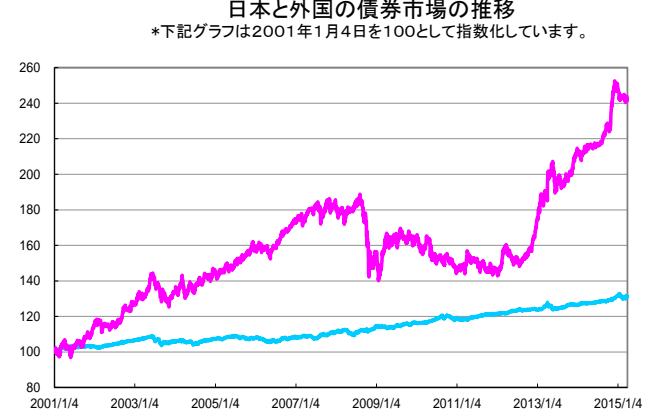
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

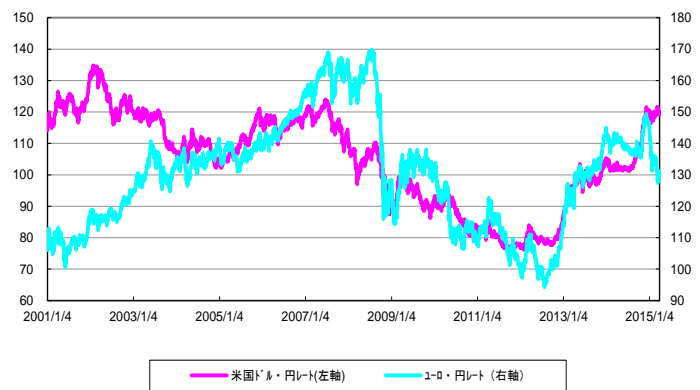


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
お問合せ先： カスタマーサービスセンター
TEL：0120-153-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社三菱東京UFJ銀行

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) I型(日経平均株価) 特別勘定の現況 (2014年4月～2015年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

特別勘定の運用方針について

【資産運用に係る基本的性格】

- ◆この保険の株価指数連動追加年金のお支払いのための資産は、資産運用の成果が、株価指数連動追加年金額の増減につながるため、この保険の基本年金のお支払いのための資産(米国債券などの公社債を主な運用対象とし一般勘定で運用します。)および他の保険種類の資産とは区分して管理・運用を行なう必要があります。そのため当社は特別勘定を設け、特別勘定資産を他の資産とは独立した体制と方針に基づき運用します。
- ◆特別勘定は、ご契約日を同一とするご契約ごとに設定します。
- ◆特別勘定資産の運用は一定の収益も期待できますが、一方で対象株価指数の動向によっては、株価指数連動追加年金原資額が特別勘定に繰り入れた金額を下回る、または全くない場合があります。特別勘定資産の運用結果は、株価指数連動追加年金原資額および積立金額に直接反映されることから、資産運用の成果と投資リスクがともにご契約者に帰属することになります。

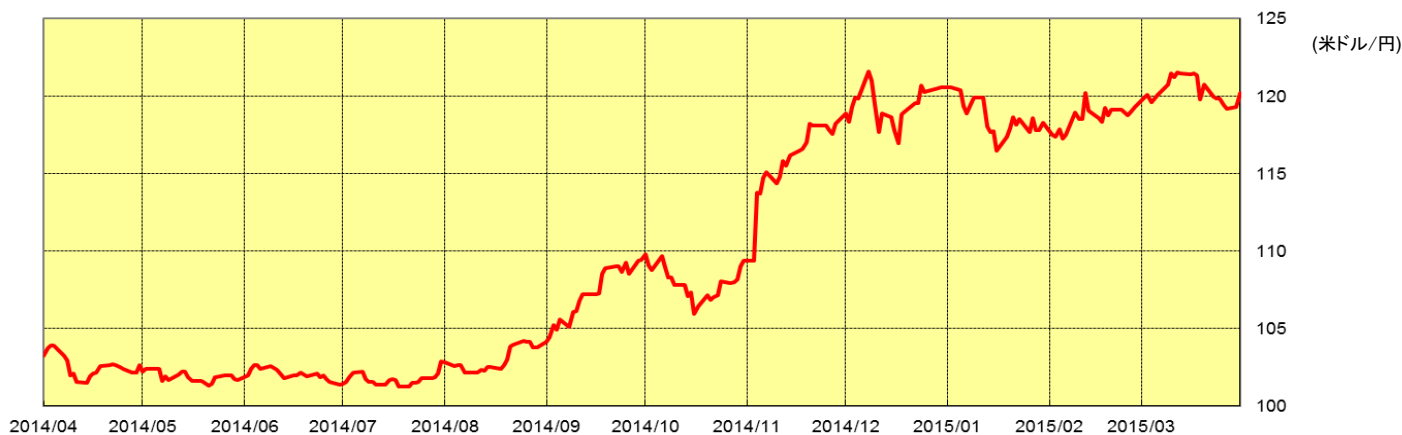
【目的と運用方針】

- ◆据置期間(ご契約日から10年間)満了までご契約を継続するご契約者に対して、所定の株価指数の上昇率に連動した株価指数連動追加年金原資を基本年金原資に上乘せすることを目的とし、これを運用方針とします。

米ドル・円 外国為替市場の推移

(2014年4月～2015年3月)

【米ドル・円 外国為替市場の推移】



※当該グラフで表示している為替市場は、株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値を採用しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
お問合せ先: カスタマーサービスセンター
TEL : 0120-153-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社三菱東京UFJ銀行

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) I型(日経平均株価) 特別勘定の現況 (2014年4月～2015年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

株価指数の変動実績

2015年3月末日現在

【運用コメント】

当特別勘定資産は、日経平均株価の上昇率に連動した株価指数連動追加年金原資額を確保することを目的として、当社がエクイティ・インデックス・スワップ取引を行うことによって運用しました。
当社は、特別勘定に繰り入れた金額を用いてエクイティ・インデックス・スワップ取引を行い、日経平均株価のパフォーマンスによって変動する将来の追加年金原資額の給付を確保するための運用を行いました。

【日経平均株価の推移】 (2014年4月～2015年3月)



【特別勘定(契約年月日)ごとの上昇率の推移】 (各特別勘定の計算開始日～2015年3月末日まで)

特別勘定(契約年月日)	日経平均株価(終値)の上昇率	ステップアップ水準値		
		40%	80%	120%
2005年 5月1日	74.0%	○	-	-
2005年 6月1日	67.2%	○	-	-
2005年 7月1日	62.9%	○	-	-
2005年 8月1日	56.2%	○	-	-
2005年 9月1日	46.0%	○	-	-
2005年 10月1日	45.6%	○	-	-
2005年 11月1日	31.3%	-	-	-
2005年 12月1日	22.7%	-	-	-
2006年 1月1日	22.3%	-	-	-
2006年 2月1日	24.4%	-	-	-
2006年 3月1日	15.5%	-	-	-
2006年 4月1日	10.9%	-	-	-
2006年 5月1日	18.8%	-	-	-
2006年 6月1日	31.1%	-	-	-
2006年 7月1日	28.5%	-	-	-
2006年 8月1日	19.2%	-	-	-
2006年 9月1日	22.1%	-	-	-
2006年 10月1日	15.3%	-	-	-
2006年 11月1日	22.1%	-	-	-
2006年 12月1日	12.9%	-	-	-
2007年 1月1日	10.9%	-	-	-
2007年 2月1日	7.0%	-	-	-
2007年 4月1日	10.0%	-	-	-

- ・記載の「上昇率」とは、計算開始日における日経平均株価の終値と、2015年3月末日時点における日経平均株価の終値とを比較した数値です。(「計算開始日」とは、契約日の属する月の20日です。この日が東京証券取引所の休業日にあたる場合には、前営業日となります。)
- ・上昇率は、株価指数連動追加年金原資額の計算に用いられます。
- (1) 計算対象期間中に日経平均株価の上昇率がステップアップ水準値(日経平均株価上昇率40%・80%・120%)に到達した場合は、その時点で上昇率(40%・80%・120%)を用いて計算された株価指数連動追加年金原資額が確保されます。
- (2) 計算対象期間中に日経平均株価の上昇率がステップアップ水準値に一度も到達しなかった場合は、据置期間満了日における上昇率を用いて計算された株価指数連動追加年金原資額が確定します。
- (2)で且つ、据置期間満了日における上昇率がマイナスであった場合は、株価指数連動追加年金原資額はゼロとなります。
- ・上昇率は0.1%単位とし、端数は切り捨てます。
- ・記載の上昇率はあくまでも2015年3月末日時点における上昇率であり、将来の日経平均株価の推移を保証・予測するものではありません。
- ・ご契約ごとの契約応当日現在の株価指数連動追加年金原資額等については、毎年送付しております「ご契約内容のお知らせ」をご参照願います。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
お問合せ先: カスタマーサービスセンター
TEL: 0120-153-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社三菱東京UFJ銀行

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) I型(日経平均株価) 特別勘定の現況 (2014年4月～2015年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。

特別勘定資産評価額

2015年3月末日現在

特別勘定(契約年月日)	特別勘定資産評価額(米ドル)
2005年 5月1日	581,379.35
2005年 6月1日	643,647.10
2005年 7月1日	1,372,160.79
2005年 8月1日	1,380,959.58
2005年 9月1日	326,529.00
2005年 10月1日	281,106.54
2005年 11月1日	172,988.89
2005年 12月1日	86,201.37
2006年 1月1日	131,317.17
2006年 2月1日	69,672.62
2006年 3月1日	29,099.61
2006年 4月1日	9,965.85
2006年 5月1日	21,793.72
2006年 6月1日	52,557.16
2006年 7月1日	66,368.12
2006年 8月1日	9,116.87
2006年 9月1日	10,941.53
2006年 10月1日	2,739.33
2006年 11月1日	11,264.94
2006年 12月1日	7,092.15
2007年 1月1日	2,624.55
2007年 2月1日	1,055.22
2007年 4月1日	7,985.15
合計	5,278,566.61

- ・記載の特別勘定資産評価額は、特別勘定ごとの2015年3月末日時点における合計値となっています。特別勘定は、ご契約日を同一とするご契約ごとに設定します。
- ・金額の単位未満は切り捨てています。
- ・記載の特別勘定資産評価額は、株価指数の推移・変動性、金利情勢、及び解約・減額等による特別勘定の積立金額の払い戻しなど諸要因によって変動します。
- ・ご契約ごとの契約応当日現在の株価指数連動追加年金原資額等については、毎年送付しております「ご契約内容のお知らせ」をご参照願います。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

TEL: 0120-153-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社三菱東京UFJ銀行

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) I型(日経平均株価) 特別勘定の現況 (2014年4月～2015年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

《参考情報》 本保険契約の予定利率および連動率

特別勘定(契約年月日)	適用予定利率	基本年金原資保証率	連動率A(I型)
2005年 5月1日	4.25%	115%	34.20
2005年 6月1日	3.85%	110%	39.80
2005年 7月1日	3.85%	110%	41.20
2005年 8月1日	3.85%	110%	39.40
2005年 9月1日	3.85%	110%	35.50
2005年 10月1日	3.85%	110%	32.60
2005年 11月1日	3.85%	110%	32.90
2005年 12月1日	4.25%	115%	27.40
2006年 1月1日	4.25%	115%	27.50
2006年 2月1日	4.25%	115%	27.00
2006年 3月1日	4.25%	115%	26.00
2006年 4月1日	4.25%	115%	25.00
2006年 5月1日	4.25%	115%	26.90
2006年 6月1日	4.80%	120%	20.00
2006年 7月1日	4.80%	120%	32.20
2006年 8月1日	4.80%	120%	24.20
2006年 9月1日	4.80%	120%	23.75
2006年 10月1日	4.80%	120%	36.00
2006年 11月1日	4.80%	120%	21.80
2006年 12月1日	4.25%	115%	17.00
2007年 1月1日	4.25%	115%	25.00
2007年 2月1日	4.25%	115%	23.80
2007年 4月1日	4.25%	115%	29.00

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

TEL: 0120-153-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社三菱東京UFJ銀行